

撲で佐賀は寄り切りられた。続く五日目は大綱嵐との初顔の一番。「さすがに大綱嵐には勝つだろうよ。」という鹿賀乃戸親方の言葉も空しく、強引ななど輪で墓穴を掘って5連敗となった。

これで、大綱維持の為に一番も負けられない土俵に立たされた。ここから奇跡の6連勝が起きるのか？だが、この5日間の相撲を見る限り、その可能性は限りなくゼロに近いと言えそうだ。

春ノ翔とともに三役で3連勝の関脇大神楽は、四日目に大綱嵐と対戦。元大関の力を見せて圧倒して4連勝を飾った。五日目は今場所所好調の出羽翼。注目一番は大神楽がのど



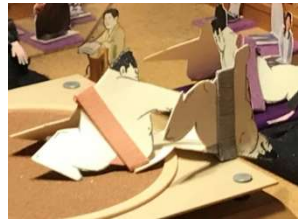
出羽翼○(引き落とし)●大神楽



大綱嵐●(寄り切り)○大神楽

輪に行ったらとところを出羽に引き落とされて初黒星を喫した。1敗は喫したものの、大関復讐にはこのまま優勝するために絡んでいきたいとこだ。

平幕では、負け越し知らずで前頭四枚目まで上がってきた鉄甲が三役経験者を相手に連日健闘している。五日目には三役常連の超刃に押し倒して勝ち「上位に来て押し倒して勝つなんて、随分と相撲の幅が出てきたもんだ。」と師匠の勝間田親方を感心させる相撲を見せ、後半戦の相撲が楽しみになってきた。



鉄甲○(押し倒し)●超刃

五日目を終えて残り6日、これから後半戦に入る。優勝争いは、横綱春ノ翔、大関千代鈴、関脇大神楽を中心に展開されそうだが、平幕の1敗力士が割って入ることも考えられ

る。果たして波乱が起きるのか、それとも上位による優勝争いとなるのか、次回は2月19日開催の予定だ。(錦風)

### 十両は暫、勝ノ川らが牽引

四日目に暫を除く初戸、宇治家、夢ノ花、磯自慢の4力士が敗れて暫が1人全勝をキープ。このまま独走状態に入るかと思われた五日目に落とし穴。「今場所は全勝優勝で幕内昇進するから」と友砂親方も通所前から言っていた展開だったが、剣将にがっぷり四つから廻しを掴んで振られたところで正面審判部長の鹿賀乃戸親方と見ても勝算ありと見て手を掲げた。手痛い1敗とはなりましたが調子自体は問題ないだろう。



暫 ●(寄り切り)○剣 将

十両2場所での十両通過も視界に入ってきた勝ノ川は、三日目に初戸に不覚をとったが難敵の西神門と葵盛を下して1敗を堅持。葵右攻めから押し倒しを決まり手。元々左差し一辺倒なだけに偶然とは言え意外な勝ち方もあるところを見せた。今場所も優勝争いに絡んで行きたいところ。



勝ノ川○(押し倒し)●葵 盛

宇治家が先場所からの好調さを持続してようやく実力開花の気配だ。葵盛と日向藤も問題かとも知れない。番付で追い越すのも時間の問題かもしれない。

香具山部屋は夢ノ花は五日目を終えて4勝1敗と上々のスタート。この日は幕下以下で力士全員が黒星とあって香具山親方にとつては頭の痛い結果になってしまったが、部屋頭の夢ノ花が好調なのが救いではある。このまま終盤まで優勝争いに行ければ部屋としての活気も戻って来るだろう。

初日こそ敗れた英風であったが、その後は4連勝と白星を重ね波に乗ってきた。前回新十両の時は3場所の在籍で何れも5勝6敗と勝ち越しは届かずに終わった。今場所はようやく安心できる状態でもなく、「とにかくあと2つ勝て」と部屋に帰ってから英風方から発破をかけられることとなるに違いない。

### 幕下は桐垂勢が9力士

幕下は初日を開催。今場所は東二枚目に奮付を上げてきた蛭国が富士浪部屋から久方振りの関取となるか、また優勝争いでは先場所の磯自慢のように意外な伏兵が現れてくるのか注目されるところだ。

初日を取り終えた中では、一場所での十両返り咲きを目指す夢ノ天と電幕の対戦は電幕の立ち合いから一気逆転の勝ち。夢ノ天の勝ち越せば文句なしの昇進となるだけに二日目からは仕切り直して行きたい。



夢ノ天●(押し倒し)○電 幕

先場所あと一步のところまで昇進に届かなかった蛭国は、菊地原をがっちり掴まえて慎重に寄り切った。富士浪部屋では142回場所から夏雄大が引退してか関取は大きく蛭国にかかるとか今場所を決めたいところだ。



菊地原●(寄り切り)○蛭 国

西四枚目の真田丸が小兵の藤丸をうまく捌いて好発進を決め、こちらも新十両のチャンスだ。所属は友砂部屋であるが、蛭国と同様に春日根道場で復活を遂げた経緯からは、十両に昇進した暁には春根部屋に電撃移籍ということもあるかも。



藤丸●(寄り切り)○真田丸

今場所の新幕下力士は4人。先場所三段目で優勝の茅ヶ崎、麒麟シリーズからは鹿麒麟そして椿富士とともに幕下初日を白星で飾った。また先場所限りで引退した支那虎と若剣の枠で、新たに虎吉田と虎西田が東西十六枚目に入った。虎西田は黒星だったが、虎吉田が菊の里を下し白星発信とした。

### 三段目〜序の口

三段目では若蛭勇と富岳が人気を集めており、初日は亀風を無難に退け、好スタートを切った。

序二段では秋田部屋が二場所目のジंकウスに悩まされての負け。出た難波山と蓮富士は勝ったものの序二段上位に番付を上げた栃鶴雅と冥ヶ浜は初日白星ならず。二日目からの巻き返しに期待だ。



難波山○(寄り切り)●桜 庭 亀 風●(寄り切り)○若蛭勇

序の口では八重垣部屋から下山田が再出場。状況を見るに期待できない。新弟子が見るに足らない。現役復帰。育成会初最年長の序の口力士に注目だ。(鹿)



蓮富士○(寄り切り)●一山口

土俵は第126回は源氏丸と同期の30歳。(鹿)